

理系第3問

複素数平面上の原点以外の点 z に対して、 $w = \frac{1}{z}$ とする。

- (1) α を 0 でない複素数とし、点 α と原点 O を結ぶ線分の垂直二等分線を L とする。
点 z が直線 L 上を動くとき、点 w の軌跡は円から 1 点を除いたものになる。この円の中心と半径を求めよ。
- (2) 1 の 3 乗根のうち、虚部が正であるものを β とする。点 β と点 β^2 を結ぶ線分上を点 z が動くときの点 w の軌跡を求め、複素数平面上に図示せよ。

$$(1) z \text{ は } O\alpha \text{ の垂直二等分線上の点だから } |z| = |z - \alpha| \iff \left| \frac{1}{w} \right|^2 = \left| \frac{1}{w} - \alpha \right|^2$$

$$\iff \left(\frac{1}{w} \right) \overline{\left(\frac{1}{w} \right)} = \left(\frac{1}{w} - \alpha \right) \overline{\left(\frac{1}{w} - \alpha \right)}$$

$$\text{両辺に } w\bar{w} \text{ をかけて } 1 = (1 - \alpha w) \overline{(1 - \alpha w)}$$

$$\text{両辺を } \alpha\bar{\alpha} \text{ で割って } \frac{1}{\alpha\bar{\alpha}} = \left(\frac{1}{\alpha} - w \right) \overline{\left(\frac{1}{\alpha} - w \right)}$$

$$\iff \left| w - \frac{1}{\alpha} \right|^2 = \left| \frac{1}{\alpha} \right|^2 \iff \left| w - \frac{1}{\alpha} \right| = \left| \frac{1}{\alpha} \right|$$

これは円を表し、 $w \neq 0$ より原点は含まない。よって中心 $\frac{1}{\alpha}$ 、半径 $\left| \frac{1}{\alpha} \right|$

- (2) 題意の線分は -1 と原点 O を結ぶ線分の垂直二等分線なので、(1) で $\alpha = -1$ とおくことにより、 w の軌跡は $|w + 1| = 1$ ここで、 $\frac{1}{2} \leq |z| \leq 1$ だから、

$$\frac{1}{2} \leq \left| \frac{1}{w} \right| \leq 1 \iff 1 \leq |w| \leq 2$$

よって求める軌跡は円 $(x + 1)^2 + y^2 = 1$ の $x \leq -\frac{1}{2}$ の部分 (図略)